2014年度

KITA

JICA研修コースの実績紹介

「省エネルギー政策立案（C）」

2015年1月20日

（公財）北九州国際技術協力協会　研修部

1. 研修コースの紹介

1)コースリーダー / 川口　健二

2)研修コース 名

・和文：　課題別研修「省エネルギー政策立案(C)コース」

・英文：　Policy Planning for Energy Efficiency & Conservation (C)

3)研修受入れ期間：　2014/7/02 ～ 2014/8/02

4)参加研修員：　12名　（9カ国）

参加国内訳

①バングラデシュ　②エジプト　③インド　④インドネシア　⑤ラオス
⑥モルディブ　⑦ミャンマー　⑧フィリピン　⑨スリランカ

【参加された研修員の地域と国名】

KITA

アフリカから～

エジプト

Welcome to JICA/KITA

アジアから～

バングラディッシュ、インド、インドネシア、ラオス、
モルディブ、ミャンマー、フィリピン、スリランカ

世界各地から派遣された研修員の皆さんが、北九州市（JICA九州）に集まり省エネルギー政策立案に関する技術研修に参加しました。

2. 研修目標

KITA

案件目標

成果①と②を達成して、自らの省エネルギー政策立案能力を強化する。
【成果1】：日本の省エネ政策とその推進施策や省エネ関連技術について基本的な知識を理解する。
【成果2】：研修で習得した知識や研修員間の議論を踏まえて、自国で省エネを推進するための現実的な政策提案とアクションプランを作成する。

自国での実施

日本での研修

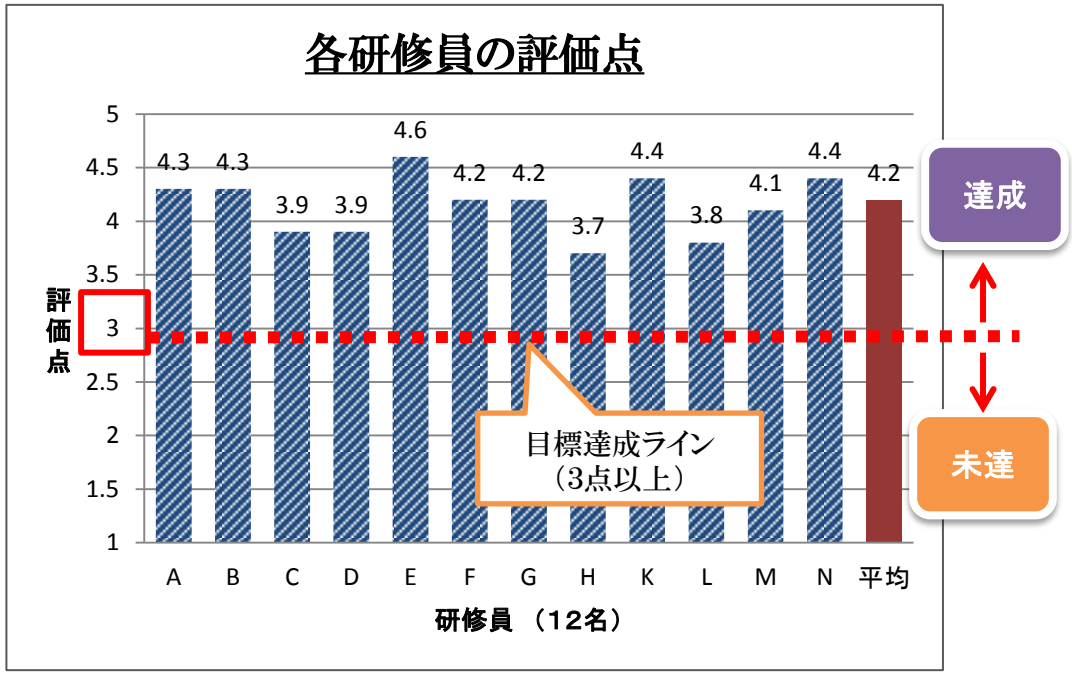
単元目標①
：日本の省エネルギー政策とその推進施策の現状を理解し、自国の省エネルギー政策との比較や自国への適用可能性について検討できる。

単元目標②
：日本の省エネルギー技術に関する基本的な知識や省エネ推進活動の具体的な内容と効果を理解し、自国との比較や自国への適用可能性等について検討できる。

単元目標③
：研修を通じて習得した知識や手法を活用して、自国のエネルギー事情と省エネ政策の実態を踏まえた政策提案とアクションプランを作成し、所属組織に提案できる。

3. 研修員の達成度

【案件目標】



上表に示す通り、評価者の研修員平均が4．2点となり、全員が案件目標（3点以上）をクリアーしたと評価されました。

◆評価指標

・政策提案とアクションプランの評価

①課題の明確化

自国のエネルギー資源とその需給動向や省エネルギー政策の現状とその問題点を整理して目標達成のために取り組むべき課題が明確になっていること。

②課題解決策とアクションプラン

明確にされた課題の解決策として「研修成果を反映した」「実現性のある」 具体的な政策提案とアクションプランが纏められていること。

上記の視点で取りまとめた「アクションプラン」が評価者の採点（5点満点）で3点以上を目標達成としました。

4. コースリーダーの所感

今回の研修コースは、期間中に梅雨、台風、猛暑と高湿度、更にはラマダンも重なって、快適とは言い難い環境となりましたが、研修員全員がそれぞれの国情に応じた「政策提案とアクションプラン」を作成し、無事研修を修了できたことは、コースリーダーとしての大きな喜びでした。

地球温暖化やエネルギー問題を我々以上に深刻に捉えて、その解決のための道を真剣に学び取ろうとする多くの研修員の姿勢に感心させられましたが、同時に我々も各国の多様な実情、考え方等について、多くの貴重な情報を得ることができました。

この成果を次回の研修に反映し、研修員の熱意に応えられる研修コースの提供に努めたいと思います。一方研修員には、各国の事情、仕事を進める上での慣習や自身の立場等々の制約事情の壁を乗り越えて全員がアクションプランを計画通り実践することを望みます。

最後に、今回の研修でお力添えを頂きましたJICA関係各位に感謝申し上げますとともに、ハードな日程にもかかわらず規律正しく対応して頂きました研修員各位に敬意を表します。

研修員の感動スピーチ
（於：閉講式）

閉講式でスピーチされたバズルールさん
（バングラデシュから参加されました）

Mr. RAHMAN Mohammad Bazlur (通称：バズルールさん)の謝辞
～研修員代表～

◆和訳をご紹介します。

尊敬すべき研修運営管理者の皆様、
尊敬すべきコーディネーター、
親愛なる研修の仲間たち、
素晴らしいご列席の皆様、

スピーチされたバズルールさん。

コンニチワ！

研修員を代表して謝辞を述べる機会を頂き、身に余る光栄です。省エネルギー政策立案研修の出資者であり、また、私達を同研修への参加者として推薦してくださったJICAに対し、研修員全員を代表して、感謝の意を表したいと思います。

また、この研修を効果的かつ円滑的に調整してくださったKITA（北九州国際技術協力協会）にも大変感謝しています。KITAは我々の研修に最高の人材を割り当ててくださいました。

閉講式で古野理事長より修了書を授与されたバズルールさん。

古野理事長より修了書を授与された研修員の皆さん。
（写真はリハブさん／エジプトから参加）

この研修は、省エネについて学び、経験を共有するまたとない機会を私達に与えてくれました。この四週間、非常に謙虚に且つ熟練した方法で課題を提供し、その課題を私達が理解できるよう尽力してくれた全ての研修運営管理者の皆様に研修員を代表して深謝申し上げます。

研修初日から、マフミさん、ケンジさん、ウエヤマさんは、私達と一緒にいてくださいました。マフミさんとケンジさんは、北九州市内の視察や東京・京都への研修旅行全てに同行して、視察や研修旅行が実りあるものになるようあらゆる努力をしてくださいました。

研修で企業訪問
前列左が「マフミさん」：研修監査員の勝部さん
前列中央が「ケンジさん」：　コースリーダーの川口さん

「ウエヤマ」さん
（植山さん）

彼らは、ジョブレポートや政策立案やアクションプランを細かく確認し、適切なものになるよう導いてくださいました。また、私達の発表が上手く行くよう、リハーサルの時間も割いてくださいました。正直、私のこれまでの人生で、どこのどの研修プログラムにおいても、これほど献身的できめ細かいものを経験したことはありません。研修員を代表して全ての皆さんに感謝いたします。

マフミさんの優れた通訳能力には驚かされました。技術的内容または非技術的内容を問わず、彼女がいかに素早くメモ帳に走り書きし、そして、いかに完璧に適切な通訳をしてくれるかということについて、時折、私達は研修員同士で話したものでした。研修員を代表して、彼女の素晴らしい通訳と絶え間ない協力に感謝いたします。

更に、KIC及びTICのスタッフ、JICAバスの運転手さん、訪問した様々な団体の職員の皆様にも御礼申し上げます。そのすばらしいおもてなし、思いやり、ご親切に感謝いたします。あなた方のおかげで私達全員が日本大使となりました。私達はどこにいようとも、日本人の寛大さを皆に伝えていきます。

私達は、省エネが巨大なテーマであるということを認識しており、四週間の研修では十分でありませんでした。ですが、この研修は、手段や技術を習得するための手助けをしてくれましたし、カイゼンの知識を更に深く得る道筋も示してくれました。私達は、更に知識を増やし、各々の母国の職場環境に適用するよう、一生懸命に取り組んでいくつもりです。

エネルギー効率の改善や省エネ推進による低炭素社会の発展へ向けてJICAが絶えず努力し、深く関与されていることに深謝いたします。そのことは、次世代への十分な敬意と責任をもって平和な世界へと共に働きかけていく動機を私達に与えてくれるものと固く信じています。多くの難題が待ち構えていると思いますが、私達研修員は、研修で学んだことを実行に移すことをJICAに固く約束します。

親愛なる研修の仲間達よ、9か国12名の私達研修員は、四週間を共に過ごし、共通の友人になりました。日本での楽しい思い出を胸に全員が無事に帰国するよう願っています。更に、研修員の皆さんにお願いがあります。これからもお互い電子メールで連絡を取り合い、知識や意見や経験そして省エネに関する何か新しい情勢、あるいは、それぞれの国が抱えるエネルギー関連の問題点を共有しましょう。

新幹線移動の車中にて

最後に、研修仲間全員には、日本滞在中、お互いに協力し合い、尊敬し合い、そして、親しく時を過ごすことができたことに感謝したいと思います。

アリガトウゴザイマシタ！

神の祝福がありますように。

6. 研修アルバム

北九州市の環境マスコット「テイタン」と一緒に

国土交通省での研修を終えて

エコタウン「OAリサイクル工場」での研修風景

大木町「くるるん」での研修風景